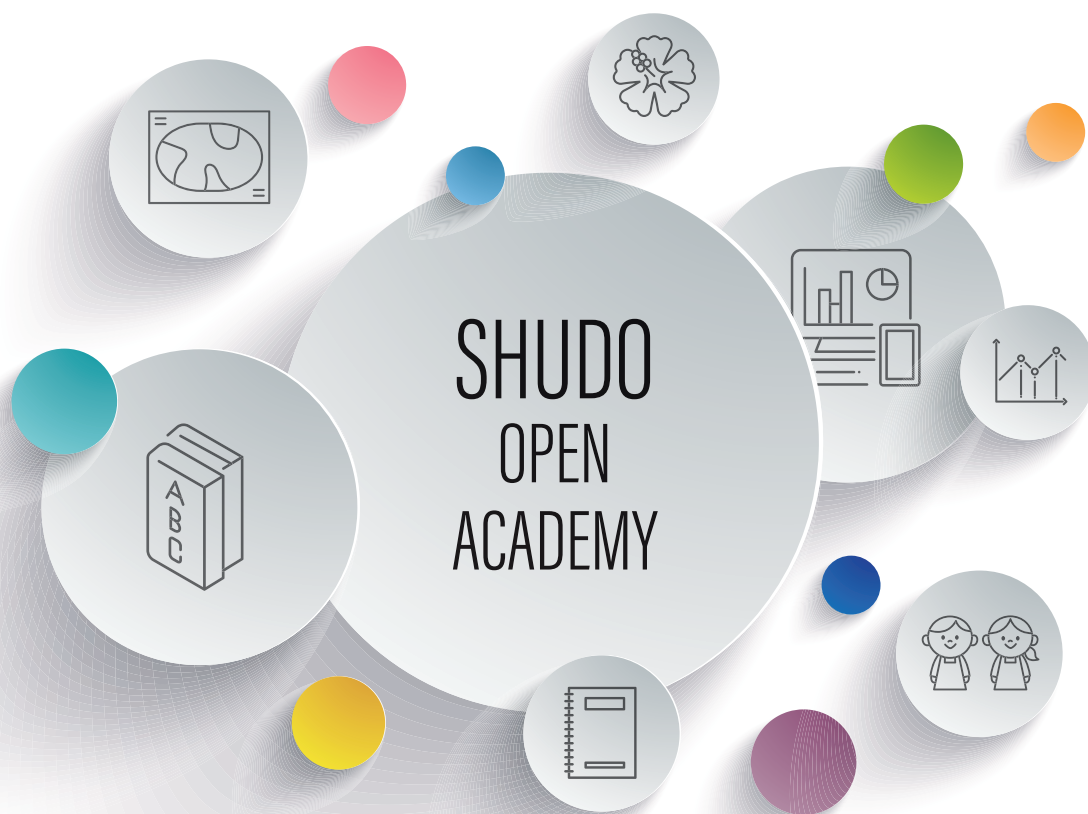


広島修道大学で学ぶ生涯学習講座
修道オープンアカデミー

公開講座・エクステンション講座

2025年度後期[2025年9月～12月]

申込開始: 2025年8月19日(火) 9:00～



公開講座

- ①人新世の時代の「人間」
申込締切: 9月24日(水)
- ②社会学で考える
申込締切: 10月15日(水)
- ③人文学研究と社会問題:
英語の光と影、幸福感のある
社会のために
申込締切: 11月19日(水)

エクステンション講座 [有料講座]

- ①袋町小学校『郷土読本』(昭和7年)からひも解く広島歴史
申込締切: 9月3日(水)・振込期限: 9月17日(水)
- ②デジタル時代のメディア論
申込締切: 9月3日(水)・振込期限: 9月17日(水)
- ③ハワイ移民を通してみるハワイの
歴史といま(第二次世界大戦～現代まで)
申込締切: 9月10日(水)・振込期限: 9月24日(水)
- ④デッサン
申込締切: 9月17日(水)・振込期限: 10月1日(水)
- ⑤「子ども」をめぐる教育・思想・物語
申込締切: 9月10日(水)・振込期限: 9月24日(水)

公開講座と エクステンション講座 について

「修道オープンアカデミー」は、社会人等に対し広く学習及び学び直しの機会を提供するためのものです。公開講座は無料で開講し、教員の専門分野の研究成果を社会に還元する場です。エクステンション講座は、教養系、語学系、ビジネス系、資格系などの講座を有料で開講しています。

最新の情報は広島修道大学公式WEBサイト内「修道オープンアカデミー」のページをご確認ください。
やむを得ない事情により、講座を中止したり日程等を変更したりした場合、こちらでお知らせします。



▲アクセスは
こちらから



広島修道大学
ひろしま未来協創センター
〒731-3195
広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号
TEL 082-830-1407 FAX 082-830-1932
E-mail gakuou@js.shudo-u.ac.jp

- ・講座は「広島修道大学修道オープンアカデミー規程」に基づき実施しております。
- ・お申込み時にお預かりする個人情報、お申込みや受講に関する連絡、名簿の管理、主催する行事のお知らせにのみ使用し、これらの目的以外には使用しません。
- ・お申込み内容(ご連絡先等)に変更が生じた場合は、ひろしま未来協創センターまでご連絡ください。
- ・各講座、定員に達し次第、募集を締め切ります。
- ・講座の教室等の詳細は、後日、お申込者にメールでご案内いたします。
- ・講座の録音、録画、写真撮影はご遠慮ください。
- ・講座中、秩序を乱す、または受講生としてふさわしくない言動などがあった場合は受講をお断りすることがあります。
- ・欠席された講座の資料は、講座内でお受け取りください。個別に送付することはできません。
- ・キャンパス内は全面禁煙です。
- ・公共交通機関でお越しいただける講座をお申込みください。講座受講者用の駐車場はございません。

- ・お申込み後に受講を取りやめる場合には、必ずひろしま未来協創センターまでご連絡ください。
- ・お申込み後に受講講座や受講者を変更することはできません。
- ・申込締切後、申込者数が5名に満たない講座は不開講とします。この場合、後日、お申込者にはメールでご連絡します。
- ・受講料は講義1回につき1,000円とし、講座の講義回数により定めています。
- ・テキスト代は受講料に含まれていません。また、講座によっては、別途教材費などを徴収する場合があります。

【受講料の振り込みについて】

- ・**受講料は、銀行振込で指定の期日までにご入金ください。申込締切後に大学から振込依頼を送付します。**
- ・一括でお振込みください。分納はできません。
- ・大学から送付する指定の振込用紙で広島銀行からお振込みいただく場合、振込手数料は無料です。
- ・指定の期日までにご入金がない場合は、受講を取り消すことがあります。
- ・ご本人の都合により受講を取りやめる場合、振込まれた受講料は返金できません。

天候不良等に伴い、大学の授業が休講になる場合は、修道オープンアカデミーも休講になります。また、天候不良等や講師の事情により、やむを得ず講座の日程を変更したり、中止したりすることがあります。休講や日程変更の際はメールでお知らせします。

アストラムライン 県庁前駅	約36分 アストラムライン		
広島駅	約3分 JR山陽本線 JR可部線	新白島駅	約32分 アストラムライン
	約20分 JR可部線	大町駅	約19分 アストラムライン
	約5分 JR山陽本線 JR可部線	横川駅	広島修道大学 キャンパス バス停
約7分 広電バス	約19分 広電バス		
広島 バスセンター			
西広島駅	約24分 ボンノバス「五月が丘団地行」		五月が丘団地 (修道大学南口)
広島港 宇品	約30分 広島電鉄 「広島駅 / 西広島駅」	本通	約37分 アストラムライン
			広域公園前駅 (修道大学前)

※曜日によって運行されないものもありますので十分注意してください。

お申込み

次のいずれかの方法でお申込みください。

受付は2025年8月19日(火)9:00より開始します。

二次元バーコードをスマートフォン等のカメラで読取

公開講座

<https://forms.gle/p5A6zG7TV3YVohNZ7>



エクステンション講座

<https://forms.gle/CuGYamXroVjnB4wU6>



本学公式WEBサイトからアクセス

STEP 1

「広島修道大学 修道オープンアカデミー」とインターネットで検索し、本学公式WEBサイトにアクセスする。



STEP 2

修道オープンアカデミーのページを下にスクロール(移動)する。



② 下にスクロール(移動)する。

STEP 3

公開講座申込フォーム または、
エクステンション講座申込フォーム
をクリックすると、申込みフォームに移動します。
※公開講座とエクステンション講座の
申込みボタンは異なります。

■ 申込みフォーム

公開講座とエクステンション講座は申込フォームが異なりますので、各申込みフォームからお申込みください。

③

公開講座申込フォーム

エクステンション講座申込フォーム

やむを得ず上記の方法でお申込みができない方は、各講座の申込期間内にメールにてお問い合わせください。

人新世の時代の「人間」

本講座では、「人間とはなにか」という古来よりの問いについて、20世紀を代表する思想家ジョルジュ・バタイユの「特異」と呼ばれる思想を中心として、教育哲学・教育人間学の立場から考えてみます。人間の全体性を考察したバタイユの思想は、「悪」や「呪われた部分」といった、日常から隠蔽・排除あるいは矯正の対象とされてきたものから人間をとらえようとしています。人間と動物、人間と機械、人間とAI…。人間の境界が揺らいでいる現代において、「人間」についてあらためて考えてみたいと思います。

【定員】100名

【対象者】高校生以上

【受講料】無料

【会場】本学(7号館 学術ホール)

日時	テーマ	担当講師
① 10月11日 土 10:30~12:00	人新世の時代の「人間」	宮崎 康子(人文学部 教授)

申込締切 9月24日水

社会学で考える

本学の社会学科は2024年4月に開設されました。社会学は、近代化する18世紀から19世紀初頭のヨーロッパで、大量の人口が農村から都市へと移動するのに伴って生じた社会現象や社会問題を、理論的に理解しようとするなかで誕生した学問です。また、社会を観察対象とし「なぜそのようになっているのか」について明らかにすると同時に、「当たり前とされる現実を問いなおす」試みでもあります。本講座では、社会学の考え方をを使って具体的な社会現象に理論的な説明を試みたいと思います。

【定員】100名

【対象者】高校生以上

【受講料】無料

【会場】本学(7号館 学術ホール)

日時	テーマ	担当講師
① 11月 1日 土 10:30~12:00	個人化社会とジェンダー	仁井田 典子(人文学部 准教授)
② 11月 22日 土 10:30~12:00	移民の歴史と記憶—広島・満洲・ハワイ	佐藤 量(人文学部 准教授)
③ 12月 13日 土 10:30~12:00	『となりのトトロ』と農村社会	三隅 貴史(人文学部 准教授)

申込締切 10月15日水

人文学研究と社会問題：英語の光と影、幸福感のある社会のために

英語は、「国際語」としてその有用性が強調され、光が当てられることが多い言語です。一方、光が強い分、その覇権性が生み出す差別や格差に関わる影も強い言語であるといえるでしょう。誰もが幸福感をもって英語を学べる公正な社会をつくるにはどうすればいいのでしょうか。本講座では、英語学と応用言語学を専門とする講師が、それぞれ、英語の歴史と言語習得の知見を紐解き、英語という言語を、社会構造との関わりで見つめます。そして、私たちが英語とどう付き合っていけばいいのかを考えます。

【開催方法】ハイブリッド(対面/オンライン) 【定員】対面 100名/オンライン 100名 【対象者】高校生以上

【受講料】無料

【会場】本学(7号館 学術ホール)

【備考】講義は日本語で行います。また、受講においては、英語の技能は要求されませんので、『ことば』に関心のある方なら、どんなでも参加可能です。

日時	テーマ	担当講師
① 12月 6日 土 10:45~12:15	英語の光と影—入門編	戸出 朋子(人文学部 教授)
② 12月 6日 土 13:05~14:35	「標準英語」とは?:その成立とこれから	水野 和穂(人文学部 教授)
③ 12月 20日 土 10:30~12:00	自分の言語を創造する:「正しい/正しくない」を超えて	戸出 朋子(人文学部 教授)

申込締切 11月19日水

【オンラインでの受講について】

- ・パソコンやタブレット端末、スマートフォン、インターネット環境等講座で使用するものはご自身でご用意ください。
- ・『Zoom』を使用したリアルタイム配信を予定しています。
- ・『Zoom』アプリのインストールをしていただいた上での接続をお願いしております。必ず最新版をインストールしてください。
- ・データ通信料はご本人様の負担となりますので、動画が視聴できる十分な容量または無制限のネット環境を準備することをおすすめいたします。また、スマートフォンを使用される場合はWi-fiを使用するなどして速度制限等に注意してください。
- ・接続に関する技術的なサポートは行っておりませんので、予めご了承ください。
- ・オンライン講座の内容を録画・録音・撮影して転載・拡散することは禁止します。



袋町小学校『郷土読本』(昭和7年)からひも解く広島歴史

本講座は、昭和7年に袋町小学校が発行した『郷土読本』をテキストに広島歴史をひも解きます。現在の広島市中心部において、原爆に関する歴史は多く語られていますが、それ以前の歴史に関して語られる機会は、決して多いとはいえません。本講座は、現在も続く袋町小学校で、戦前の児童たちが学んだ『郷土読本』を通して広島歴史を学び、戦後80年を迎えた今、私たちが受け継ぐものは何か?を考えてみたいと思います。

【担当講師】中道 豪一(本学非常勤講師) 【定員】50名 【対象者】高校生以上 【受講料】10,000円 【会場】本学
【備考】各回レジュメや参考資料を配布しますが、次の書籍をご用意ください。中道 豪一『古地図と歩く広島』(南社社 令和5年)

日時	テーマ	日時	テーマ
① 9月 22日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻1 1 比治山にのぼって ～	② 9月 29日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻1 9 明治大帝と大本営 ～
③ 10月 6日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻2 1 埃宮詣で ～	④ 10月 20日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻2 7 管絃祭 ～
⑤ 10月 27日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻2 13 郷土人の海外発展 ～	⑥ 11月 10日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻2 18 川通り ～
⑦ 11月 17日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻3 1 広島城 ～	⑧ 12月 1日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻3 6 罐詰工場 ～
⑨ 12月 8日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻3 11 宇品港 ～	⑩ 12月 15日 ⑨ 10:45～12:15	『郷土読本』 巻3 16 辻将書 ～

申込締切 9月3日(水) 振込期限 9月17日(水)

デジタル時代のメディア論

デジタル時代の今、メディアとは一体何でしょうか?この講座の前半では、メディアについて、原初から中世、近現代まで誕生から発展の過程を考察します。新聞やラジオ、テレビなどのマスメディアの登場と社会との関わりを探ります。後半ではインターネットを活用した「GAFA」と呼ばれる巨大プラットフォームなどに焦点を当てます。さらにSNSやフェイクニュース、生成AIがメディアに及ぼす影響についても考えていきます。

【担当講師】竹原 進一(本学非常勤講師) 【定員】30名 【対象者】社会人 【受講料】10,000円 【会場】本学

日時	テーマ	日時	テーマ
① 9月 24日 ⑩ 14:50～16:20	メディアの起源と無文字社会—人類学の視点から	② 10月 1日 ⑩ 14:50～16:20	活版印刷から産業革命へ—メディアの発展と社会変化
③ 10月 8日 ⑩ 14:50～16:20	メディアと政治—戦争とジャーナリズム	④ 10月 15日 ⑩ 14:50～16:20	マスメディアの誕生—新聞を中心に
⑤ 10月 22日 ⑩ 14:50～16:20	大衆文化とメディア—ラジオ、映画、音楽産業	⑥ 10月 29日 ⑩ 14:50～16:20	データの世紀—GAFA覇権の光と影
⑦ 11月 5日 ⑩ 14:50～16:20	テレビからYoutubeへ—映像メディアの主役は	⑧ 11月 19日 ⑩ 14:50～16:20	SNSと誹謗中傷—メディア・リテラシー
⑨ 11月 26日 ⑩ 14:50～16:20	生成AIとメディア—脅威かツールか	⑩ 12月 3日 ⑩ 14:50～16:20	アテンション・エコノミー—情報過多時代を生きる

申込締切 9月3日(水) 振込期限 9月17日(水)

ハワイ移民を通してみるハワイの歴史といま(第二次世界大戦～現代まで)

前期の内容に続きます。1941年12月7日7:50am(現地時間)に始まった太平洋戦争は、当日の夕方直ぐに約200人の日本人や日系人が逮捕され、最終的にハワイでは約3000人が抑留されました。なぜ戦争開始当日に日本人・日系人を逮捕できたのか。開戦から現在までのハワイの政治・経済(主に日系人の活躍)・文化・英雄などについてJCCH作成のYouTubeを中心に、現在のハワイでの日常生活・文化の紹介を交えながら、展開してゆきます。

【担当講師】山中 祐子(本学非常勤講師) 【定員】10名 【対象者】高校生以上のハワイに興味のある方
【受講料】5,000円 【会場】本学

日時	テーマ
① 9月 30日 ⑩ 10:45～12:15	前期の振り返り・1941年12月7日曜日7時50分(現地時間)・ハワイの約40%の日本(日系)人・martial law(戒厳令)・curfew(夜間外出禁止令)・スパイ・忠誠心調査と分離・抑留者・(You Tube: Chapter4前半)
② 10月 14日 ⑩ 10:45～12:15	100歩兵大隊・422連隊戦闘団・抑留日系人補償法・トルーマン大統領(You fought not only the enemy, you fought prejudice—and you won.)・ホノウリウリ収容所・相賀安太郎・redress(過ちを正す・救済する)(You Tube:Chapter 4後半)
③ 10月 28日 ⑩ 10:45～12:15	平等・自由・公正・民主主義・ダニエル井上・スパーク松永・パッツィー・タケモト・ジョージ有吉・共和党から民主党へ・ハワイ準州知事・州知事・スカイライン(You Tube Chapter 5 前半 政治)
④ 11月 11日 ⑩ 10:45～12:15	ハワイの5大独占企業(Big Five)・Central Pacific Bank(CPB)・日系2世による自身のビジネスの設立・1960年代のハワイ・パンナム・Sumoブーム・ハウスレス問題(You Tube: Chapter5 後半 経済)
⑤ 11月 25日 ⑩ 10:45～12:15	文化のお祝い・ヒーローなど/元年者(記念碑)・パンナムと日系人・高見山・曙・(NASA)エリソン塚塚・(You Tube: Chapter 6)など

申込締切 9月10日(水) 振込期限 9月24日(水)

デッサン

鉛筆一本の線でも工夫することで、様々な表情や濃淡を生み出すことが出来ます。題材は身近なものを描きます。デッサンを通して表現することの楽しさや難しさを体験しませんか。「描き方」を指導するのではなく、意識的に物を観る・感じる力を養うお手伝いが出来ればと考えています。描くことが感性をより豊かに研ぎ澄ます機会に繋がればと思います。初心者の方には道具の説明から行います。経験者には、それぞれのレベルに応じて指導いたします。

【担当講師】沼本 秀昭(人文学部 教授)

【定 員】15名

【対 象 者】高校生以上

【受 講 料】10,000円

【会 場】本学

【備 考】
 ●モチーフは各自用意して持参下さい(初回はこちらで用意します)。
 ●参加者は鉛筆デッサン用具一式を用意して下さい。(用具一式
 例:スケッチブックF6号サイズ前後・鉛筆(HB/2H/2Bを1本ずつ)・練り消しゴム・ガーゼ・カッター)
 ●お持ちでない方は、用具一式(2,500円程度)を初回に販売いたします。
 単品売りも可能。

日時	テーマ
① 10月 10日 金 13:05~14:35	オリエンテーション
② 10月 10日 金 14:50~16:20	幾何形体を描く
③ 10月 24日 金 13:05~14:35	果物を描く
④ 10月 24日 金 14:50~16:20	
⑤ 11月 7日 金 13:05~14:35	パンを描く
⑥ 11月 7日 金 14:50~16:20	
⑦ 11月 28日 金 13:05~14:35	野菜を描く
⑧ 11月 28日 金 14:50~16:20	
⑨ 12月 12日 金 13:05~14:35	ショートケーキを描く
⑩ 12月 12日 金 14:50~16:20	

申込締切 9月17日(水) 振込期限 10月1日(水)

「子ども」をめぐる教育・思想・物語

18世紀より前の時代には「子ども」は存在しませんでした。もちろん、年齢的な子どもはどの時代にも存在しています。けれども、現代のわたしたちが子どもを見るような子どもに対する見方が存在していなかったのです。本講座では、「子ども」が発見されたとされる18世紀を中心に、それ以前の子どもとそれ以降の子どもをめぐる社会的なまなざしの変化・変遷を、子どもをめぐる教育・思想・物語という3つの観点から紹介します。

【担当講師】宮崎 康子(人文学部 教授)

【定 員】50名

【対 象 者】高校生以上

【受 講 料】3,000円

【会 場】サテライトキャンパスひろしま

日時	テーマ
① 10月 1日 水 10:45~12:15	18世紀に発見された「子ども」
② 10月 22日 水 10:45~12:15	18世紀から20世紀初頭の子どもを中心とする世界の物語
③ 11月 19日 水 10:45~12:15	20世紀以降の子どもと大人の境界の確定・揺らぎ・超越

申込締切 9月10日(水) 振込期限 9月24日(水)

サテライトキャンパスひろしまへのアクセス

※エクステンション講座「『子ども』をめぐる教育・思想・物語」のみ、サテライトキャンパスひろしまで開講します。

サテライトキャンパスひろしま
(広島県民文化センター 5・6階)

〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3

TEL:082-258-3131 FAX:082-258-3010

交通のご案内

【JR広島駅から】

路面電車で約20分、バスで15分、車で15分

○路面電車(広島電鉄)

- ◆広島港行
→「本通」下車、徒歩約5分
- ◆西広島行、江波行、宮島行
→「紙屋町西」下車、徒歩約3分

【広島バスセンターから】

徒歩約3分

広島県民文化センター 地下駐車場

- ・収容台数 31台 ・営業時間 8:00~22:00
- ・駐車料金 [8:00~22:00の間]30分220円
(夜間の入出庫はできません。)

※高さ2.20m×幅2.50m×長さ5.5mまでの車両の駐車が可能です。

